

◆2015年度の講座の概要(抜粋)

※2016年度の講座は、2015年度を下敷きにして、さらに充実をはかる予定です。(講師の顔ぶれと講座の内容が2015年度から変更になることがあります。ご留意下さい)

◎横内謙介の講座

- ・最初の授業で、講座の年間予定と全体方針を説明
 - 講師(主に劇作家)が、各自の創作方法などをそれぞれのスタイルで語ったり実習を行う
 - 講義だけではなく、ストレートプレイのプロット作成と創作の連続実習も行う
 - 戯曲を書ける人は書いてかまわない。原則として希望する劇作家に講評してもらうことが可能
 - 受講生どうしで勉強会、リーディングを始めてみるなど、それぞれの個性を生かしてコミュニケーションの回路をつないでほしい
- ・芝居を作る上で大事なことはどういうことか
 - 河竹黙阿弥の“芝居作者心得”
 - 近松門左衛門の『曾根崎心中』について
 - 井上ひさしさんが、戯曲セミナーで語った言葉など

◎土田英生の講座

- ・「表現する」とはどういうことか
- ・セリフをどう書くか?
 - 短くて、かつ、状況を的確に観客に伝えるセリフを書くエクササイズなど

◎長谷基弘の講座

- ・プロット実習講座
- ・演劇の構造と会話
 - 会話を書くことを疑似体験するエクササイズ
- ・プロット作成のエクササイズと講評
- ・グループに分かれてプロット創作をする実習
- ・テーマの掘り下げ方について
- ・伏線について
- ・ドラマリーディングの理論について
- ・ドラマリーディングのコツ
- ・ドラマリーディングを体験するグループワークなど

◎マキノノゾミの講座

- ・宮本研『美しきものの伝説』を読み解く。 ※ファシリテーター: 檜原拓
 - 事前に戯曲を読む
 - 戯曲について、受講生との質疑応答
 - 登場人物の描き方
 - 歴史的な背景
 - 演出したときに考えたことや工夫
 - セリフについて
- など

◎坂手洋二の講座

- ・劇作家としての考え方、ものの捉え方について
- ・脚本家の笠原和夫の方法について
- ・ドキュメンタリーシアターについて
 - 報告書も作品になる
 - デヴィッド・ヘアの作品や『CVR』について
 - 現実をどう捉えるか
- ・清水弥生『Summer House After Wedding』について
 - 初稿を読む
 - 舞台公演を観る、最終稿を読む
 - 初稿が上演に向けてどのように改稿されたか、そのポイントは
 - 企画の背景と経緯
 - フィリピンの俳優の参加について
- ・舞台は共同製作である
- など

◎鈴木聡の講座

- ・自作『ポンコツ大学探検部』を語る(事前に観劇会を実施)
 - 着想から「作劇」へ
 - テーマ(表テーマと裏テーマ)
 - どう工夫したか
 - 喜劇性を作っていくために何に注意するか?
 - ストーリーとポイントの解説
- など

◎故林広志の講座

- ・「笑い」の創作について
 - 「笑い」の緩和作用
 - 「笑い」を生む状況
- ・コントの手法
 - 単純化
 - 掛け合わせ
 - 緊張の緩和と対比
 - 人物設定
- ・コントの課題を出し、提出作品を講評する
- など

◎青木豪の講座

- ・劇作を始めたきっかけ
- ・自身の創作法
 - 場所の設定
 - 人物の設定
 - 時間の設定
 - 取材
- ・商業演劇の書き方の基本について
- ・書くうえですごく大事なことは何かなど

◎公開講座(2日間)

○長塚圭史のワークショップ

- ・座・高円寺の舞台を使った「劇場を体験するワークショップ」
 - 劇場という空間を知る
 - 変幻自在の劇場空間での可能性を探る

○ミュージカル講座「2. 5次元ミュージカルーどこから来て、どこまで行くのか？」

《お話し》松田誠、特別ゲスト:小越勇輝

《聞き手》青木豪、篠原久美子、青井陽治(司会)

→普通のミュージカルの動向と絡めながら、2. 5次元ミュージカルについて語る

○別役を待ちながら

第1部 あしたの別役

- ・別役戯曲の抜粋を、「あやめ十八番」「こゆび侍」「口字ツク」が連続上演
- ・鴻上尚史と鈴木聡が、各カンパニーに作品解釈や狙いを聞く

第2部 わたしの別役

- ・別役実×ケラリーノ・サンドロヴィッチの対談映像上映
- ・劇作家たちが「別役実」の人と作品を語り尽くす
登壇:岩松了、鐘下辰男、坂手洋二、宮沢章夫、渡辺えり

◎篠原久美子の講座

- ・才能がある人は、なぜ才能があるのか
- ・作品世界の構築について
 - どこを出発点にするかによる劇作家のタイプ分類
- ・プロットとストーリーについて
- ・セリフについてなど

◎丸尾聡の講座

- ・俳優はどのように戯曲を読むのか、俳優の視点から体験してみる
- ・劇作家が持つべき身体性について
- ・テキストの読み合わせをする実習
など

◎平田オリザの講座

- ・グループに分かれて短編戯曲を創作する実習
 - 演劇を創るとはどういうことか
 - 場所(空間)、背景(時間)、問題について
 - セミパブリックな空間について
- グループごとに題材を決める
 - 登場人物の機能と出ハケについて
 - 「共有」について
- グループごとにプロットを作成する
- できあがってきたプロットに対する講評
- プロットにOKが出たらエピソードを考えてセリフを書いていく
 - 対話と会話
 - エピソードの使い方について
 - セリフのコンテキストについて
 - 「コミュニケーションと演劇」について
- 各グループが創作した短編戯曲をリーディングで発表、そして、講評
 - リーディングで戯曲の弱点がよくわかる
 - 登場人物の機能について再確認
 - 登場人物の気持ちが変わる要因について
 - 背景の微妙さ複雑さのさじ加減について
 - 説明的なセリフについて
- など

◎佃典彦の講座

- ・書くのに詰まったときは？
- ・書くときのモチベーションの保ち方は？
- ・不条理劇を書くうえでの工夫や注意は？
- ・不条理な状況での会話は？
- ・戯曲を書く動機は？
- ・劇作と演出をどうやって学んだか？
- ・発想力はどこから？
- ・書くきっかけは？
- ・優れた作品とは？
- ・演劇と映像の違いは？
- ・僕の書き方
 - タイトル
 - いつ、どこ、だれ？
- など

◎中屋敷法仁の講座

- ・タイトル、登場人物、セリフの3つを考える
 - どんなものが届きやすいか、存在感を示すか
- ・戯曲のタイトル、登場人物、セリフ(ト書き)を考えるエクササイズなど

◎ケラリーノ・サンドロヴィッチの講座

- ・どのようにして劇作家になったか
 - バスター・キートン、マルクス兄弟、モンティ・パイソン
 - ラジカル・ガジベリビンバ・システム
 - 劇団健康、ナイロン100℃
 - 『カラフルメリィでオハヨ』のこと
 - 別役実
- ・自分の書き方
 - 作品のタイプが毎回違う
 - 企画の段階ではストーリーが決まっていない
 - 最新作『グッドバイ』のこと、作品が生まれる経緯、どう考えて作ったか、など
 - 『すべての犬は天国へ行く』について
 - 『室温』について
- ・原作から上演台本にするときに考えていることはなど

◎永井愛の講座

- ・戯曲を書き始めるきっかけと目指した方向について
- ・わたしが描いているものは何か？
- ・個人の中にある「歴史」について
- ・『ら抜き殺意』について
- ・『歌わせたい男たち』について
- ・『鴉外の怪談』についてなど

◎鴻上尚史の講座

- ・作家としての考え方とコツ
- ・戯曲を書くのに大事なこと
 - 「表現」と「表出」
 - who、when、where、what
 - 起承転結の配分
 - 登場人物の目的と障害
 - 行動を書く
 - 多重層理論
- など

◎**長田育恵**の講座

- ・なぜ演劇を書きたいのか？ 演劇でなくてはならないのか？
- ・「上演する」ということについて
 - 自分一人だけの「てがみ座」旗揚げ
- ・てがみ座における「評伝劇」
 - なぜ、その人物を自分が“今”書くのか
- ・わたしの作劇方法
- ・演出家たちとの出会いと仕事
 - 実際の現場で作家は何を求められるか？
 - など

◎**中津留章仁**の講座

- ・戯曲を書いてみよう
- ・テーマについて
- ・登場人物について
- ・シノプシスとプロットについて
- ・テーマを決めてセリフまで作ってみる
 - など

◎**鐘下辰男**の講座

- ・岸田國士『紙風船』を読み解く
 - 「戯曲を解釈する」とはどういうことか
 - 登場人物の関係性について
 - 戯曲から読み解ける設定は
 - 戯曲が書かれた時代とその背景
 - など

◎**竹内統一郎**の講座

- ・戯曲の推敲について
- ・情報の差異に敏感になることについて
- ・セリフ、応答の構造について
- ・人物(設定)について
- ・場面設定、構成について
- ・ト書きについて
- ・フォーマット、制限、制約を決めて書くことについて
 - チェーホフ『かもめ』の構造
 - など

◎**西山水木**の講座

- ・役者はどう戯曲を読み、どう役に近づいていくか
- ・体感について
- ・呼吸と発声について
- ・実感をどう演技に反映するか
- ・相手の身体に響く声
など